令和７年１月吉日

保護者様

羽曳野市教育委員会

令和７年度からの食物アレルギー対応に関するお知らせ

平素は、本市の教育活動にご理解、ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、食物アレルギーにつきましては児童生徒の健康に関わることから、これまでも安全を優先して対応してまいりましたが、より安心・安全な対応を行うため、文部科学省「学校給食における食物アレルギー対応指針」及び府教育委員会「学校における食物アレルギー対応ガイドライン」の取扱いと併せて、学校における食物アレルギー対応を令和７年度以降下記のとおりとし、児童生徒の正確な食物アレルギー情報をもとに、全市統一して対応することといたしました。

今後も引き続き、安心・安全な学校生活が送れるよう努めてまいりますので、ご理解いただきますようお願い申し上げます。

記

１.学校生活管理指導表の提出について

食物アレルギーがある児童生徒で、学校生活において特別な配慮や管理を希望される方は、医師の診断を受け学校生活管理指導表を学校へ提出してください。（アレルギー疾患は１年を経過すると症状が緩和したり、悪化したり、または新規に発症することもあります。したがって学校生活管理指導表は１年ごとに更新し、提出してください。）

（例）

・学校給食や食物・食材を扱う授業・活動において配慮が必要である。
・アナフィラキシーの既往があり、運動（体育・部活動等）がリスクになる。
・宿泊等の校外活動において配慮が必要である。　　等

２.学校給食等での対応…献立のうちアレルゲンを含むものについては、「食べる・食べない」の二者択一

食物アレルギーのある児童生徒については、安全を最優先とするため、主食（パン・ごはん）、おかず、牛乳のうちそのアレルゲンを含むものについて、「食べる・食べない」の二者択一とします。よって配膳されたものからアレルゲンとなる食物のみを取り除いて食べたり、食べる量の調整をしたり、献立や体調による喫食の判断をする等（例：卵焼きは食べないが、かきたま汁は食べる。牛乳は飲まないが、乳を含むパンは食べる。体調が良い日は食べる。）はできません。

※乳糖不耐症の児童生徒で、牛乳停止を希望される場合は医師の診断書をご提出ください。在校生につきましては、改めてのご提出をお願いします。なお、提出につきまして牛乳停止開始時の 1 回のみとします。（児童生徒の成長によって緩解するものではないとされているため。）

市 WEB サイトに【イラスト版】「令和7年度からの食物アレルギー対応に関するお知らせ」も掲載しています。ぜひご覧ください

https://www.city.habikino.lg.jp/soshiki/gakkoukyouiku/syokuiku/16076.html